



『マンチェスターユナイテッド プレミアカップ ワールドファイナルズ』  
開会式・抽選会豪華ゲストが、参加チームへ熱いエールを送った  
(2007. 7. 31 マンチェスター)



マンチェスターユナイテッド プレミアカップ ワールドファイナルズ (※以降MUPC)の初戦組み合わせ抽選会が今夜、イングランドキャリントンのマンチェスターユナイテッドのトレーニング場で行われました。世界最高レベルのU-15、20チームが集結し、印象的な開会式と抽選会が、8月1日から4日まで行われる4日間の熱戦の開幕を告げました。

草の根レベルのチームから、フットボールの世界では強豪といわれるチームまで9000を超えるチームが、このマンチェスターユナイテッドの壮大なトレーニング場でのワールドファイナルを目指し、昨年から行われてきた地区、全国、地域トーナメントを戦いました。そして勝ち残ったチームが、世界最高チームの誇りと、MUPCワールドチャンピオン2007のタイトルをかけて戦います。

ナイキが1993年にはじめたこのトーナメントは、開催10年後にはマンチェスターユナイテッドも参画し、さらに大きな規模で世界の若者のサッカー環境とそのスキルの向上を目指しています。

マンチェスターユナイテッド マーチャンダイジングのデヴィッド・タッカー社長がこの夜の主催者として、クラブにとっても若者のレベル向上が重要であることを強調。サー・アレックス・ファーガソンとサー・ボビー・チャールトン両氏が見守る中、20チームのキャプテンがステージに上り、抽選が行われ、それぞれ5つのチームからなる4つのグループに分けられました。

次に特別ゲストのガリー・ネヴィルとオーレ・スールシャールがステージに登場し、興奮した参加者達にアドバイスと激励の言葉を述べました。

マンチェスターユナイテッド トップチームのキャプテンであるガリー・ネヴィルは自分の若いころのフットボールの経験と、フットボールを学ぶ上でのこの大会の重要性を語りました。

「皆さんのように若いうちから、世界中から沢山のチームが集まり、そして様々なチームと試合をするというMUPCに参加する機会を得ることは、かけがえのない経験になります。この機会を最大限に活用し、あらゆることを学び、すべての時間を楽しんでほしいです。」

オーレ・スールシャールは彼にとっての良いチームを作るための秘訣を話しました。「もちろん、努力は大切です。しかし、チーム意識を高めるための意欲と、お互いのために尽くすこと。お互いを思いやることが大切なのです。才能があっても、それだけでは足りません。意識してチームメートと一緒に協力する心がけが必要です。もちろん自分らしさも出して、自分のフットボールも楽しんでください。」

さらに、20チームのうちMUPC決勝戦に残ったチームのみが迎えられるオールドトラフォードの神聖なピッチについて、その雰囲気を紹介しました。

「ピッチに向かうトンネルを歩いて抜けると、75,000人のファンが自分たちを待っている。それはなんともすばらしい感覚です。何回経験しても、いつでも鳥肌が立つものです。皆さんがこれまでに努力したすべての結果がその経験につながっていくのです。それが何よりも励ましになります。」

サー・アレックス・ファーガソンも同じ点を繰り返し、さらにプレイヤーは自分の強みを常に見つめ、あきらめることなく夢に向かって進み続けるべきであると述べました。

「メンタルな強さはとても大切だが、よそ見をせずにながむしやらになることも大切だ。プロのフットボール選手になりたいのなら、それなりの心構えが必要だ。自分の成功のためにできる限りを尽くすこと、堅固な心も大切だ。」

さらに、ファーガソン氏は、知っている限りで最高のプレイヤーは、かつてのユナイテッドのキャプテンで、現在サンダーランドの監督を務めるロイ・キーンであると答えました。

「間違いなく彼は最高の選手だ。それは技術的な才能に恵まれていたという理由ではない。技術的には彼よりももっと優れた選手はほかにいるが、彼は非常に強い決意と意思を持っていたため、それが彼を強いキャプテンにした。人とは比べようのないほどのタフさと自分に対する信念を持っていた。皆さんには試合を楽しみ、勝つことを楽しんでほしい。それが一番の報いになるからだ。」

サー・ボビー・チャールトン は希望を高く持つことの大切さと、常に目標が達成できるわけではないことを受け入れることを学ぶ大切さを述べました。

「謙虚になることです。そして、いつも勝てるわけではないことを知るの大切です。さらに何よりも、自分個人の野望を抑えてもチーム全体としての強さを生かすべき時を知ることが大切です。チームがベストを発揮できるようにしなくてはなりません。そのチームに不満があれば、それを教訓にして、もっとがんばるためのきっかけにしてください。私も選手時代には、自分がチームが勝つために何かできたのではないかと、思いあぐねて眠れない夜がたくさんありました。」

マンチェスター・ユナイテッドのヒーローたちが各チームのキャプテンと言葉を交わした後、重要な抽選会が行われました。イギリスのMUPCチャンピオンのエバートンFCはグループ1になり、2002年MUPCワールドチャンピオンの強敵ブラジル・サンパウロが同グループに入り初戦を戦うほか、韓国のチュンナム・ドラゴンズ、ニュージーランドのセントラル・ユナイテッド、スイスのBCバーゼルが同グループで戦います。

グループ2では、アメリカのReal So Calとメキシコのアトラスのアメリカ勢が初戦に登場するほか、タイのACトンブリ、オランダ・パイレーツ、クリリア・ソベトフが同グループに名を連ねます。

グループ3では面白い挑戦が見られます。水曜日の午前、2年連続でインド代表が、ホストチームであるマンチェスターユナイテッドと戦います。今年のインド代表はイースト・ベンガルです。初戦はShandongLuneng（山東魯能）とイタリアのASローマとの戦いです。ローマは最近のマンチェスターユナイテッドに対する記録的大敗の悪夢再来をなんとしても避けたいところです。そして、最後にこのグループに登場するのはオーストリアのウイーンです。

グループ4ではチリのコロ・コロ、日本のガンバ大阪、マレーシアのブキット・ジャリル・スポーツスクール、スペインの大チームで1999年のプレミアカップワールドチャンピオンのFCバルセロナとヘルタベルリンが戦います。

9000以上のチームから始まった戦いがいまや20チームを残すばかりとなり、MUPC世界チャンピオンを目指す最後の戦いが明日から始まります。抽選会の最後には、サー・ボビー・チャールトンが力を尽くし、フェアプレーを行うことの大切さを熱く語りました。

「ベストを尽くせ。そしてフェアに。そうすれば、この試合の終わった後に、結果にかかわらずみんなの国の人々が皆さんを誇りに思うだろう。しかし、フェアでないプレーをすることは、国を辱めることになる。オフィシャルの言うことは聞き、敵にも敬意を払う。相手への理解と尊敬の気持ちが大切だ。そうやって、もしこの大会で勝つことができれば、これまでの一生の中でも一番の感激が生まれるだろう。」